

【発行責任者】
グループホーム
ねむの木のした
荒木博子
熊本県阿蘇市内594-8
0967-32-0861

ねむの木新聞 第18号

編集後記

今回ねむの木のしたのスタッフや入居者に質問してみ、改めてそれぞれの思いを感じた。時間はかかってしまったけれど、思いを一つずつ叶えられるようみんなで力を合わせていきたい。(良)



A1: ねむの木のしたに来て、久しぶりに会った利用者さんが喜んでくれたこと

A2: 利用者さんを笑わすこと。

生活支援員

no image

A3: 私の今までの経験や知識をねむの木のしたのこやしにします。

A1: 大阿蘇元気ウォークでみんなと一緒に歩けたこと。特によしおさん(仮名、60代男性)と一緒に最後まで歩きました。

A2: 「ねむの木のした」は大きな家族みたいなので、その一員になれて、うれしいです。毎日楽しい。実家に帰ってくるような気持ちになります。

サービス管理責任者・世話人



藤原朱美

A3: できる限り「ねむの木のした」で働き続けたい。

前回に引き続きグループホーム「ねむの木のした」2周年特別企画としてインタビュー記事を掲載している。

入居者も、活気に満ちた声が聞かれるようになった。

年齢層も若く、現時点で入居されている方が4名。

内20代が2名、30代が1名。60代が1名。

今後入居を希望されている方が10代が1名と、圧倒的に若い人が多いのが特徴だ。それではインタビューに入ろう。

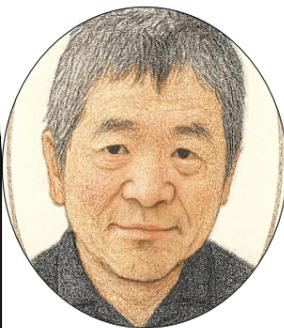
<インタビューしてみました>

★ Q1 「ねむの木のした」での2年間を振り返って、うれしかったことや心に残っているエピソードはありますか？

★ Q2 「ねむの木のした」での暮らしの中で、あなたが大切にしていることや、好きな時間・こだわり・楽しみがあれば教えてください。

★ Q3 これからの「ねむの木のした」で、楽しみにしていることや挑戦してみたいことはありますか？

入居者



よしおさん (仮名)

A1: 大阿蘇元気ウォークに参加できて、楽しかった。

A2: 食事をしているときが楽しみです。

A3: 風景画に挑戦してみたい。

生活支援員



荒木修一

A1: みんなで参加した大阿蘇元気ウォークは楽しかった。

A2: 「みんなで、一緒に何かをやること」が大切だと思います。

A3: 今度は、みんなで夜の動物園に行きたいなあ。

世話人



竹本好子

A1: 大阿蘇ウォーキングは、楽しい時間を共有出来て、良かったです。

A2: 大切な事はたくさんあると思いますが、美味しい食事を皆で食する事は、大切な事だと思います。

A3: 入居しておられるお一人お一人に寄り添えるように心がけていければと思っています。